

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者様の「思い、希望」を聴取した時は、介護記録を具体的に記述することを期待する。	普段の関わりの中で聴取した利用者様の思いや希望を具体的に介護記録に記述していく。	利用者様から「〇〇に行きたい」「〇〇に困っている」「〇〇をしたい」等の思いをその都度記述していくことを職員が徹底していくことで、思いや希望を明確化していく。	12ヶ月
2	26	具体的な利用者の思いを目標に設定し、その実現に向けた具体的な支援内容を策定することを期待する。	居宅サービス計画書の内容をより具体的にしていく。	利用者様の思いに対して、面会時に家族様に伝え情報共有し、日々の関わりの中で計画作成担当者と職員とで話し合いを重ね、具体的な支援内容を考えていく。	12ヶ月
3	38	災害発生時における相互地域協力関係(地域住民の避難場所としての建物利用⇔施設での火災発生時の避難・見守り協力等)の構築に向けた継続的取り組みに期待する。	年6回ある運営推進会議で町内会長とも連携しながら地域間で情報を共有し協力関係を構築していく。	ハッ矢連合会(白山ぬくもりホーム地域内)で避難訓練を予定しており、施設でも年2回の合同火災訓練を実施している。運営推進会議で内容を情報共有し意見を出し合い、良い関係作りを行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。